



12月16日 栄養満点のミカンを食べて

国東市柑橘研究会(会員約60名)が市内の幼稚園や保育施設、小中学校にミカン約1トンを寄贈しました。同会のミカンの寄贈は、昨年に続いて2回目です。会長の西田謹三郎さん(安岐町成久・中央)は「栄養満点のミカンを食べ、子どもたちに元気になってもらいたいです」と話していました。



12月15日 高校生が市の課題解決策を提案

国東高校で「バーチャル国東市役所～私×国東プロジェクト～」の発表会が行われました。2年生が8グループに分かれて企業訪問等を行い、市の様々な分野の課題を調査。その課題の解決策を、市への事業提案として発表したものです。参加した企業関係者や市職員らが、高校生の若い感性を生かした提案に耳を傾けていました。



12月13日 網井地区の新たな名所に

市内に河津桜を植樹している「夢咲き桜の会」のメンバーや網井地区の住民、地球温暖化防止協議会のメンバーら24名が参加して、国東町網井の国道沿いで「夢咲き桜植樹会」が行われました。同場所での植樹会は、昨年に続いて2回目です。今回は河津桜と山桜を合わせて約60本植樹しました。植樹会に参加した鈴木崇峰さんは「3、4年後に咲くのが楽しみ。地区の新たな名所になってほしいです」と話していました。



12月21日 市内の飲食店で役立てて

宝工業株式会社(安岐町馬場)が、市商工会にエチケットシールドを寄贈しました。エチケットシールドはうちわの形をした樹脂製品で、食事をしながら使用することで飛まつ防止効果が期待できます。同社の萱島敏男さん(左)が「市内の飲食店で役立ててください」と述べ、岡林敏勝会長に300個が手渡されました。



12月17日 市の交通安全のために

公益社団法人大分県トラック協会別枠支部の佐藤宗朝支部長が市役所を訪れ、市に3万8千円を寄付しました。佐藤支部長は「コロナ禍で支部会員の親睦会ができなかったので、代わりにチャリティーゴルフ大会を行って寄付金を集めました。市の交通安全の取り組みに使ってほしいです」と寄付の主旨を説明していました。



12月14日 更生保護活動への長年の貢献を表彰

「令和2年度・大分県更生保護功労」の表彰を受けた基隆道さん(武蔵町吉広)と近藤節子さん(安岐町瀬戸田)が市役所を訪れ、三河市長に受賞を報告しました。保護司を20年間務めた基さんには「法務大臣表彰」が、更生保護女性会を16年間務めた近藤さんには「法務大臣感謝状」が贈られています。



12月14日 七島蘭のお守りで受験生を応援

国東市商工会女性部のメンバーが七島蘭を使って「願いが叶う輪(お守りキーホルダー)」を約200個作成し、受験を控える市内の中学3年生に贈呈しました。この日は志成学園で贈呈式を実施。部長の西田文代さん(左から2人目)が「コロナ禍でも頑張っている皆さんを応援したいと思います」と述べ、同校児童生徒会に作品を手渡しました。

